

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2270100461		
法人名	有限会社ケアシェルパ		
事業所名	グループホームあたがわ(B棟)		
所在地	静岡県賀茂郡東伊豆町奈良本1423-107		
自己評価作成日	令和5年11月1日	評価結果市町村受理日	令和6年3月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_022_kan=true&amp;jirvosyoCd=2270100461-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_022_kan=true&amp;jirvosyoCd=2270100461-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	令和5年12月11日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

日常生活の中にやりがいを見出し、生きがいを感じていただく支援に尽力しています。敷地内の畑で野菜を収穫した後、皆で野菜の仕込み作業を行ったり、何気ない作業を分担しそれぞれの利用者様が周りの役に立っていると感じあえる互恵関係が築かれています。コロナ禍に於いて地域の方との交流が中々出来ないため、正月には近所の神社へ初詣に出掛けたり、施設中庭で日光浴や春には車で出掛け花見をされたり、タケノコ堀りして収穫したタケノコの下処理をして頂くなど季節を感じて頂いています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

山と海を両脇に抱えるように閑静な住宅地が広がる地域に、グループホームと小規模多機能事業所がお互いに見えるよう建てられています。平屋建てでゆったりした空間に、事務所を真ん中に2ユニットある配置は、ユニットの独自性を高めることもできます。またオープンな設計で窓も大きく戸外が眺められ、中庭に沢山実った蜜柑を利用者と一緒に収穫するのも楽しい時間となっています。目の前が通学路で子どもの登下校姿や元気な声が届くほか、生徒が立ち寄って利用者に声を掛けてゆくこともあり、地域に溶け込んだ穏やかな生活が保障されていることが利用者の笑顔や会話で感じられる居心地の良い事業所です

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念を玄関・事務所・各棟キッチン内に掲示し職員間で共有している。利用者様へ日々やりがいを与え生きがいのある暮らしを実践している。	「日々の暮らしにもっと自立と安らぎを」「生きがいのある暮らしを」「やさしい手の温もりと、微笑みを」との理念は、職員には入職のとき、利用者には契約の場で説明をおこない、更に職員は朝の申し送り等を活用して実践を確認し合っています	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	これまでコロナ禍で受け入れ出来なかった近隣中学校の福祉体験学習の受け入れをすることが出来、交流を深めることが出来た。	町内のクリーン作戦に加わり、目の前の道路清掃を粛々と続けています。また中断されていた中学校の訪問も10月より再開され、先方からはお礼の手紙も届いていて、事業所でも「感謝の気持ちを」と、返信の準備が進んでいることを視認しました	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町の担当者や他施設の関係者と協力し、キャラバンメイトの活動にて講演をする事で学生や地域の人々へ認知症についての理解や支援方法を伝えている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍で中止となっていた運営推進会議を2か月に一度開催する運びとなり現状報告や意見交換をしサービス向上に活かすことが出来ている。	奇数月と定めて参会での開催を長くおこなっていましたが、コロナ禍中は議事録をメンバーに送付することで意見交換につなげています。今は再開を果たし、利用者家族、地域包括支援センター、役場職員の出席を得て、和気藹々とした場が築けています	
5	(4)	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	町の「認知症にやさしい町づくり連絡会」のメンバーとして地域包括支援センター職員や他事業所の方々と密に連携している。運営推進会議に出席いただき情報を提供している。	役場の会議室で開催された「認知症と家族のテーマ」は、希望者が定員を超えてしまい制限が入るほどの盛況ぶりです。事業所でも参加出来ず、管理者は「行きたかったのに残念」とこぼしており、本エピソードからは福祉への意識が町全体として高いことが覗えます	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間帯以外は施錠せずに、敷地内は自由に活動していただいている。外へ出て一緒に付き添い行動を共にする支援を行っている。身体拘束についての研修を施設内で行っている。	玄関は施錠せず、自由に出入りができるようにしていて、開放的な雰囲気になっています。また徘徊のある利用者にはドアのブザー、靴にGPSを装着といった工夫で本人にストレスを与えずに安全を担保しています	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入居時に自宅での虐待がないか細心の注意を払って見過ごさないようにしている。「高齢者虐待防止マニュアル」を閲覧し法令や防止するための理解に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用している利用者様は数名いらっしゃる。弁護士の方、社会福祉士の方と密に連携を図りながら支援を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約内容は契約締結時前より説明を行っており、不安な事や疑問点は、理解され納得して頂けるよう十分に説明している。加算等が発生する際には、ご家族様へ説明し理解して頂いた上でやっている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	町内在住のご家族様とは毎月のお支払い時に近況報告やご要望などやり取りを行っている。入居者様の日ごろの様子についてはアルバムを作成し送付している。 遠方のご家族様とはズームや電話、メールでのやり取りで様子を伝えるように努めている。	月の支払いは引き落としにしているため、遠方に住む家族以外は事業所に直接届けてくださる為、定期的に顔を合わせた会話が持っています(全体の7、8割)。コロナ禍の面会はズームも取り入れたので、孫やひ孫とも画面上で会えて喜ばれています	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎週ミーティングを行い職員の意見や提案を聞き、迅速な判断をして利用者様への対応に活かしている。 各ユニットの主任が職員の意見を伺い、代表者との話し合いを行っている。	事業所では、職員の勤務時間やレクリエーションの在り方を模索しており、職員に楽しく長く働いてもらえるよう働き方改革が進めています。その姿勢は共鳴となり、役職者が出席する週1回のミーティングでは職員が忌憚ない意見を挙げています	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	処遇改善加算の申請により、処遇の改善に努め、向上心をもっていただける職場・環境整備に努めている。また今年度より「働き方改革」委員会を設け職場環境・整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は必要な研修費や職員の配置整備等の指示を行い、研修に参加出来る環境整備に努めている。コロナ禍に於いてはズームを使った研修や内部研修を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ過で同業者と相互訪問等直接交流する機会が出来なくなっていたが感染対策を行った上で活動を再開したい。ネットワークについて「シズケアかけはし」に加入し主治医や訪問看護と情報共有をしている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	小規模多機能ホームより入居が決まった方は、事前にグループホームを見学し職員とのコミュニケーションを進め、要望等伺ってから安心して入居していただいている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス導入より、ご家族様が抱えている不安や困惑を取り除くため要望を伺い、ご本人様に添った生活ができるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	小規模多機能ホームより移られる方が多く、事前に小規模多機能ホームの過ごし方や援助の方法を把握し、移ってからも安心して過ごせるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一人ひとりの出来る事に応じて、食器洗い・お盆拭き・洗濯物畳み・掃除等、それぞれ協力していただく事でより良い関係づくりを築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様には可能な限り共に支援できる関係づくりを心掛けて例えば必要な物の購入や病院受診などをお願いしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人がこれまで大切にされてきた馴染みの人や場との関係維持が途切れないようコロナ禍に於いて面会制限や外出制限を設けていたがズームを使っての面会を行った。5類になったことで少しずつ以前面会の受け入れを行っている。	5類となり、ようやく面会が身内から始まっています。また生き生きサロン、買い物、図書館訪問、学校行事(合唱コンクール・運動会等)への参加と、地域に溶け込んだ以前の暮らしの復活に向け、順次計画されています	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う方同士で話しやすいようにテーブルの席を配慮し、隣りの棟へも行き来しやすく利用者様同士で関わり合えるよう支援している。 お盆拭きや洗濯物たたみは利用者様同士で協力し合っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も要請があれば相談や支援に応じている。入院中の方は病院の相談員より情報を伺っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとり日頃からコミュニケーションを取り日頃から希望や意向の把握に努めている。またコミュニケーションの取れない方についてはご本人の立場となって検討している。	本人、家族から入所時の面接で思いや意向を確認しています。その後も本人の発語を集め、要望が実現できるようにミーティングで検討しています。居室前に飾られた写真や室内の家具、装飾品からも意向を汲んだことが受け止められます	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	小規模多機能ホームより移動される方については、引き継ぎによりサービスを断続し、生活歴はご本人様やご家族様より伺ってこれまで通りに暮らせるよう努めている。他施設や直接入居される方については、事前にご自宅を訪問し面談しこれまでの暮らしを把握するよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	定時に言動を記録し一人ひとりの把握に努めている。特変事項は更に記録を残し、職員間で共有しケアの向上に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活状況を把握しモニタリングを行っている。ご本人様・ご家族様に希望を伺い、ミーティング等で意見やアイデアを出し合ってケアプランを作成している。	介護計画書の長短目標の見直し並びに期間におけるモニタリングをおこなっており、短期目標については国基準通りで半年に1度としています。訪問看護や訪問診療、訪問歯科といった医療サービスも含め総合的に作成されています	モニタリングで事例検討をおこなっていますが、こちらは随時(速やかに)おこなえたら、なおよいと思います
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や言動を記録に残し職員間で共有している。特変事項はミーティングで話し合い介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	これまで行ってきた外出支援については現状休止している。買い物については要望があれば職員が購入して来ている。歯科、床屋や美容院の訪問サービスを利用している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍に入りこれまで地域資源を活用するために行って来た方法が一変しており、外部との交流が出来ていない現状がある。地域の農家からいちごを取り寄せたりしていちご狩りを楽しむなど工夫して地域資源を活用している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月の訪問診療の医師により体調管理を行っている。専門医の受診の指示があれば職員が付き添い受診し、可能な限りご家族様と連携をとっている。 月に2回訪れる訪問看護師とも連携し、急変時は24時間指示を仰げる体制にある。	協力医については、訪問診療を2か所から選択できるように配しています。専門的な医療が必要な場合は医師から紹介状を得て大学病院へと家族対応で受診しています。救急の場合は、訪問看護から医師へとの連携を以って指示を仰ぎ、対応しています	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	事前にミーティングにて利用者様の状態を話し合い、訪問看護師に伝えている。 小規模多機能ホームの看護師にもグループホームの利用者様について診ていただける環境にある。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	訪問診療の医師の病院への入院が主なため、入院後も医師や看護師と話しやすい関係になっている。 ホームで出来る事と出来ない事の線引きをしっかりと伝え早期の退院に協力していただいている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に予め重度化から終末期についてホームで行えることを説明している。 終末期にはターミナル計画書を作成し、今後起こり得る事やホームで出来る事等をご家族様に確認していただいている。	終末期については契約時に書面で説明しており、本人と家族の意向も確認しています。以前は看取りをおこなっていませんでしたが、2つの内1つの協力医が対応可能としていて、体制が整い安心です。また家族が居室で最期の日々を共に過ごせるよう図ってまいります	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の初動の訓練は行っていないが、他職員への応援要請や小規模多機能ホームの看護師への連絡、訪問看護師への連絡は速やかに行い、必要であれば救急搬送を要請している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を行い、防火管理者は消防訓練実施報告書を作成し、参加していない職員も指摘事項を共有している。 食料品・水を備蓄し、町の福祉避難所として登録している。	地震から火災の設定が大半なものの年2回の実施は遵守され、また設備としても階段がなく窓も沢山あって非常口には事欠きません。消防署要請、水消火器やAEDの訓練を重ねるとともに、防火管理者は職員から選出されており、一丸となって取組む姿勢にあります	平成18年の開所とあってハード面の補修が随時必要です。消防機器についても誤作動で夜間通報ベルが鳴った事もある為、設備の点検及び整備が求められます

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに合った言葉かけを心掛けている。 地元の方言を交えての会話で利用者様と打ち解けている。	利用者の呼びかけに職員が駆け寄る姿もあり、笑いがある和やかな空間が広がっています。地元育ちの職員とは方言での会話が成り立ち、そのやりとりを通じてニーズだけでなく、ウオッツレベルの気持ちを受け取ることも叶っています	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	気軽に思いを伝えていただけるよう一人ひとりと信頼関係を築けるように心掛けている。その中で本人が気軽に希望や相談などを話せる場を作り自己決定できるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴日や食事・掃除の時間は決まっているが、それ以外の時間は自分のペースで過ごされている。自己決定の意思表示や行動できない方については、職員から要望を伺いご本人の希望になるべく沿うよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時や入浴後は身だしなみを整え不快感がないように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むきや切れる方には切らせている。一人一人の好みを把握し例えばカレーライスがきらいな方には肉じゃがに変更したりしています。また箸を並べたり下膳やお盆拭き、テーブル拭きとそれぞれの利用者様が「役に立っている」と、やりがいを感じていただいている。	各ユニットごとに週2回の買い物で食材を調達のうち、冷蔵庫の中を見てメニューを決定していて、家庭さながらです。利用者にてできることを見極めて調理準備や下膳をお願いし、本人がやりがいを感ぜられるようにとの支援もあります	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量は毎日記録している。 嚥下の悪い方にはとろみ材でトロミをつけたり、刻み食や食べやすい器にする等工夫している。 好物を用意したり、栄養補助食品を用いて栄養摂取に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時・毎食後に口腔ケアを行っている。スポンジやガーゼを使い一人ひとりの状態に合わせてケアを行っている。 月に一度、歯科衛生士の訪問を受けている方もいっしょに指導を受けている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の記録を残しパターンを把握し、トイレで排泄出来るタイミングを計っている。また立位が困難な方も尿意がある方には介助にてトイレで排泄して頂いている。	都度日報に記載された排泄状況を職員が確認することで、おおよそのパターンを掴み、声掛けにつなげています。薬に安易に頼ることなく、雑穀米やオリゴ糖、ヨーグルトといった食によるコントロールの工夫もおこなっています	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防のためオリゴ糖、ヨーグルト、雑穀米を毎日摂取して腸内環境を整えるようにしている。便秘の際は、一人ひとりに添ったやり方で訪問看護師に相談しながら下剤を調整し服用して頂いている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	利用者様に希望を伺い時間や順番を決めている。月に一度、季節風呂の担当職員が中心に、お花・香草・果物・お茶等の変り風呂を準備して楽しんでいただいている。	火・木・土と曜日を定めた週3日の入浴タイムが励行され、また時節風呂の提供にも月替わりで尽力しています。薔薇の花びらが鮮やかに浮かぶ浴槽に気持ちよさそうに肩を沈める利用者の写真が掲示されていて、それを見る側も嬉しい気持ちになります	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は決まっていないのでテレビを観ていたり談話や読書をするなどしてからお休みになっている。エアコンで温度の調整や加湿器を使用して快適な睡眠を促している。また足が浮腫む方には踏み台や挙上して頂くなどして休んで頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ボックスにて利用者様の内服薬を管理し職員が共有できるようにしている。薬の変更の際は申し送りを行い、経過観察を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除や調理が出来る方には手伝って頂くことで役割をもって張り合いをもって日々生活できるよう支援している。レクリエーションを皆と一緒に楽しんでいる。利用者様の習字や塗り絵の作品を掲示している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	初詣には近所の神社へ混む時間を避けて外出している。お天気の良い日はホーム中庭で日光浴や花見をしながら季節を感じて頂いている。	事業所前のベンチで往來する車を眺めている人や、回覧板を職員と共に届けに出掛ける姿を見かけ、日常に戸外に出ることが溶け込んでいることが伝わりました。また、本年の初詣では久しぶりに神社への参拝ができ、少し遠出の外出にも弾みがついています	



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	これまで希望者には少額の現金や貴重品は事務所金庫で保管、お預かりして来たが、現在買い物等の外出支援を休止しているため職員が購入し清算している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をしたい場合は事務所に訪れ主に管理者が取り次いでいる。 書ける方には年賀状を送付する支援も行っている。また月に1回、担当職員のご家族への手紙と一緒に希望者にも書いて頂き出している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレへの動線を分かり易く掲示し、スイッチの位置の掲示も大きく分かり易くしている。使用中の札を用意し、使用後は消臭スプレーを使い他の方に気配りしている。季節感のある掲示物を意識して行っている。	トイレを使用中であればドアに下がった札を返すことが定着していてエチケットが守られているほか、電気のスイッチの位置もわかり易く工夫されています。訪問時の共用空間にはクリスマスの飾り付けが華やかに拡がり、本番に向けての雰囲気作りは万全です	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールではテーブル席の他にソファを配置し、テレビを見るだけでなく洗濯物を利用者様同士で畳む社交場の役目になっている。玄関や野外にも椅子を用意好きな場所で過ごせるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れた家具や寝具を用意していただき本人の違和感を最小限に抑えるようにしている。月日を重ねた利用者様の居室にはホームでの思い出の品で満たされ一人ひとり個性ある居室で生活されている。	利用者の居室は「その人らしい」個性に富んでいます。「今まで住んでいたその人の部屋を再現できるように」との説明が功を奏していることは調度品や小物などから感じられ、さらに清掃も行き届き全室衛生的です	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の戸には利用者様の顔写真と名前を掲示している。トイレのスイッチ等の分かりにくい箇所には大きな表示を出して自力で行えるように工夫している。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2270100461		
法人名	有限会社ケアシェルパ		
事業所名	グループホームあたがわ(A棟)		
所在地	静岡県賀茂郡東伊豆町奈良本1423-107		
自己評価作成日	令和5年10月25日	評価結果市町村受理日	令和6年3月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_022_kanistrue&amp;ijrvosyoCd=2270100461-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaisokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_022_kanistrue&amp;ijrvosyoCd=2270100461-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	令和5年12月11日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

日常生活の中にやりがいを見出し、生きがいを感じていただく支援に尽力しています。敷地内の畑で野菜を収穫した後、皆で野菜の仕込み作業を行ったり、何気ない作業を分担しそれぞれの利用者様が周りの役に立っていると感じあえる互恵関係が築かれています。コロナ禍に於いて地域の方との交流が中々出来ないため、正月には近所の神社へ初詣に出掛けたり、施設中庭で日光浴や春には花見をされたり、タケノコ掘りして収穫したタケノコを食べて頂くなど季節を感じて頂いています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

山と海を両脇に抱えるように閑静な住宅地が広がる地域に、グループホームと小規模多機能事業所がお互いに見えるよう建てられています。平屋建てでゆったりとした空間に、事務所を真ん中にして2ユニットある配置は、ユニットの独自性を高めることもできます。またオープンな設計で窓も大きく戸外が眺められ、中庭に沢山実った蜜柑を利用者と一緒に収穫するのも楽しい時間となっています。目の前が通学路で子どもの登下校姿や元気な声が届くほか、生徒が立ち寄って利用者に声を掛けてゆくこともあり、地域に溶け込んだ穏やかな生活が保障されていることが利用者の笑顔や会話で感じられる居心地の良い事業所です

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) <input type="radio"/>	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) <input type="radio"/>
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) <input type="radio"/>	64	通いの場合やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) <input type="radio"/>
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) <input type="radio"/>	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) <input type="radio"/>
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) <input type="radio"/>	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) <input type="radio"/>
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) <input type="radio"/>	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う <input type="radio"/>
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) <input type="radio"/>	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う <input type="radio"/>
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) <input type="radio"/>		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念を玄関・事務所・各棟キッチン内に掲示し職員間で共有している。 利用者様へ日々やりがいを与え生きがいのある暮らしを実践している。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	これまでコロナ禍以前に続いていた近隣中学校との交流や町立図書館のイベントへの参加が困難となっていたが、近隣中学校の福祉体験実習の受け入れを行うことが出来、子供たちと交流することが出来た。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町の担当者や他施設の関係者と協力し、キャラバンメイトの活動にて中学校等で講演をする事で地域の人々へ認知症についての理解や支援方法を伝えている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍に入りこれまで運営推進会議は書面にて奇数月に報告させて頂いていましたが、2023年9月より開催の運びとなりました。ご家族様や役場の方、併設の小規模多機能のご利用者様、グループホームの入居者様も参加されそこでのご意見を元に今後のサービス向上に生かしていきたい。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	町の「認知症にやさしい町づくり連絡会」のメンバーとして地域包括支援センター職員や他事業所の方々と密に連携している。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間帯以外は施錠せずに、敷地内は自由に活動していただいている。外へ出ても一緒に付き添い行動を共にする支援を行っている。「スピーチロック」や「ドラッグロック」についての研修を行い傲りをなくすよう努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入居時に自宅での虐待がないか細心の注意を払って見過ごさないようにしている。「高齢者虐待防止マニュアル」を閲覧し法令や防止するための理解に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用している利用者様は数名いらっしゃる。弁護士の方、社会福祉士の方と密に連携を図りながら支援を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約内容は契約締結時前より説明を行っており、不安な事や疑問点は、理解され納得して頂けるよう十分に説明している。加算等が発生する際には、ご家族様へ説明し理解して頂いた上でやっている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	町内在住のご家族様とは毎月のお支払い時に近況報告やご要望などやり取りを行っている。入居者様の日ごろの様子についてはアルバムを作成し送付している。 遠方のご家族様とは電話やメールでのやり取りで様子を伝えるように努めている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎週ミーティングを行い職員の意見や提案を聞き、迅速な判断をして利用者様への対応に活かしている。 各ユニットの主任が職員の意見を伺い、代表者との話し合いを行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	処遇改善加算の申請により、処遇の改善に努め、向上心をもっていただける職場・環境整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は必要な研修費や職員の配置整備等の指示を行い、研修に参加出来る環境整備に努めている。コロナ禍に於いては内部研修を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ過に入り同業者との交流の場がなくなりましたが、今後進めて行く予定。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	小規模多機能ホームより入居が決まった方は、事前にグループホームを見学し職員とのコミュニケーションを進め、要望等伺ってから安心して入居していただいている。その他から入居される方については事前に施設内を見学して頂いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス導入より、ご家族様が抱えている不安や困惑を取り除くため要望をじっくりと伺い、ご本人様に添った生活ができるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	小規模多機能ホームより移られる方が多く、事前に小規模多機能ホームの過ごし方や援助の方法を把握し、移ってからも安心して過ごせるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一人ひとりの出来る事に応じて、食器洗い・お盆拭き・洗濯物畳み・掃除等、それぞれ協力していただく事でより良い関係づくりを築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	受診には可能であればご家族様に対応をお願いしている。その他必要なものを届けて頂いたりすることで関りをもつことで共に支えていく関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人がこれまで大切にされてきた馴染みの人や場との関係維持がコロナ禍に於いて面会制限や外出制限を設けており厳しい現状ではあるが、希望があればズーム面会を行う旨通知している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う方同士で話しやすいようにテーブルの席を配慮し、隣りの棟へも行き来しやすく利用者様同士で関わり合えるよう支援している。 お盆拭きは利用者様同士で協力し合っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も要請があれば相談や支援に応じている 入院中の方はご家族や病院の相談員より情報を伺っている。		
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとり日頃からコミュニケーションを取り日頃から希望や意向の把握に努めている。またコミュニケーションの取れない方についてはご本人の身となり検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	小規模多機能ホームより移動される方については、引き継ぎによりサービスを断続し、生活歴はご本人様やご家族様より伺ってこれまで通りに暮らせるよう努めている。他施設や直接入居される方については、事前にご自宅を訪問し面談しこれまでの暮らしを把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	定時に言動を記録し一人ひとりの把握に努めている。 特変事項は更に記録を残し、職員間で共有しケアの向上に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活状況を把握しモニタリングを行っている。ご本人様・ご家族様に希望を伺い、ミーティング等で意見やアイデアを出し合っケアプランを作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や言動を記録に残し職員間で共有している。特変事項はミーティングで話し合い介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	これまで行ってきた外出支援については現状休止している。買い物については要望を伺い職員が購入して来ている。歯科、床屋や美容院の訪問サービスを利用している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍に入りこれまで地域資源を活用するために行ってきた方法が一変しており、外部との直接交流が出来ていない現状がある。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月の訪問診療の医師により体調管理を行っている。専門医の受診の指示があれば職員が付き添い受診し、ご家族様と連携をとっている。 月に2回訪れる訪問看護師とも連携し、急変時は24時間指示を仰げる体制にある。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	事前にミーティングにて利用者様の状態を話し合い、訪問看護師に伝えている。 小規模多機能ホームの看護師にもグループホームの利用者様について診ていただける環境にある。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	訪問診療の医師の病院への入院が主なため、入院後も医師や看護師と話しやすい関係になっている。 ホームで出来る事と出来ない事の線引きをしっかりと伝え早期の退院に協力していただいている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に予め重度化から終末期についてホームで行えることを説明している。 終末期にはターミナル計画書を作成し、今後起こり得る事やホームで出来る事等をご家族様に確認していただいている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の初動の訓練は行っていないが、他職員への応援要請や小規模多機能ホームの看護師への連絡、訪問看護師への連絡は速やかに行い、必要であれば救急搬送を要請している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を行い、防火管理者は消防訓練実施報告書を作成し、参加していない職員も指摘事項を共有している。 食料品・水を備蓄し、町の福祉避難所として登録している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	スピーチロックに関する社内研修を行っている。 一人ひとりに合った言葉かけを心掛けている。 地元の方言を交えての会話で利用者様と打ち解けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で着替えの洋服を選択していただいたり、食べたいおやつを選択を頂いている。チラシを見ながら好きなものや食べたいものを伺ったりしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴日や食事・掃除の時間は決まっているが、それ以外の時間は自分のペースで過ごされている。自己決定の意思表示や行動できない方については、職員から要望を伺ったりご本人の希望になるべく沿うよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時や入浴後は身だしなみを整え不快感がないように支援している。 イベントなどで希望があればお化粧をしたりしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下膳やお盆拭き、テーブル拭きをそれぞれの利用者様が「役に立っている」と、やりがいを感じていただいている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量は毎日記録している。 嚥下の悪い方にはトロミを付けたり、ミキサー食や刻み食にし食べやすい器に盛る等工夫している。 好物を用意したり、栄養補助食品を用いて栄養摂取に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時・毎食後に口腔ケアを行っている。スポンジやガーゼを使い一人ひとりの状態に合わせてケアを行っている。 月に一度、歯科衛生士の訪問を受けている方もいっしょに指導を受けている。		



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の記録を残しパターンを把握し、トイレで排泄出来るタイミングを計って介助にて行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防のためオリゴ糖、ヨーグルト、雑穀米を毎日摂取して腸内環境を整えている。便秘の際は、一人ひとりに添ったやり方で下剤を服用している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	利用者様に決まった曜日内で希望を伺い時間や順番を決めている。 月に一度、季節風呂の担当職員が中心に、お花・香草・果物・お茶等の変わり風呂を準備して楽しんでいただいている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	エアコンで温度の調整や加湿器を使用して快適な睡眠を促している。また足が浮腫む方には挙上して頂くなどして休んで頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイルにて利用者様の内服薬を管理し職員が共有できるようにしている。 薬の変更の際は申し送りを行い、経過観察を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除や調理が出来る方にはやりがいとして手伝っていただいている。 レクリエーションを皆と一緒に楽しんだり、ボランティアの方との交流で気分転換を図っている。利用者様の習字や塗り絵の作品を掲示している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出支援についてはコロナ禍であるため原則休止している。初詣には近所の神社へ混む時間を避けて外出している。お天気の良い日はホーム中庭で日光浴や花見をしながら季節を感じて頂いている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	これまで希望者には少額の現金や貴重品は事務所金庫で保管、お預かりして来たが、現在買い物等の外出支援を休止しているため職員が購入し清算している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば事務所の電話を使い、職員が取り次いでいる。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレへの動線を分かり易く掲示し、スイッチの位置の掲示も大きく分かり易くしている。使用中の札を用意し、使用後は消臭スプレーを使い他の方に気配りしている。季節感のある掲示物を意識して行っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールではテーブル席の他にソファを配置し、テレビを見るだけでなく洗濯物を利用者様同士で畳む社交場の役目になっている。玄関や野外にも椅子を用意好きな場所で過ごせるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れた家具や寝具を用意していただき本人の違和感を最小限に抑えるようにしている。月日を重ねた利用者様の居室にはホームでの思い出の品で満たされ一人ひとり個性ある居室で生活されている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の戸には利用者様の顔写真と名前を掲示している。トイレのスイッチ等の分かりにくい箇所には大きな表示を出して自力で行えるように工夫している。		